

2021年12月17日

関係各位



前田道路株式会社 広島合材工場 『低炭素合材製造・販売開始』

〈概要〉

インフロニア・ホールディングス株式会社（社長:岐部一誠 本社:東京都千代田区）グループの前田道路株式会社（社長:今泉保彦 本社:東京都品川区）は、同社の広島合材工場（工場長:橋本 尚幸 所在地:広島県広島市）において、来年1月よりアスファルト混合物製造時に排出される CO2 を 50%削減した低炭素合材の製造・販売を開始します。

〈詳細〉

前田道路では、CO2 排出削減目標を 2030 年度に 2013 年度比 50%削減、2050 年度にはカーボンニュートラルを目指しており、今回の低炭素合材の製造・販売は 2030 年度の目標に向けて先行した取り組みです。

アスファルト混合物製造における骨材等の加熱乾燥に用いる燃料を、重油から CO2 排出原単位の小さい都市ガスとバイオマス由来のカーボンニュートラルなバイオ重油に変更しました。また、プラントの稼働電力をすべて再生可能エネルギー率 100%に変更することにより、アスファルト混合物製造に伴う CO2 排出量を 50%削減することが可能となり、低炭素合材として販売する運びとなりました。これにより施工会社は当工場のアスファルト混合物を使用することで、スコープ 3 を大幅に低減することができます。

【CO2 排出量削減方法】

燃料：都市ガス 75%

バイオ重油 25%

（植物油由来のA重油要求規格を満たしたバイオマス燃料 CO2 排出係数 0.00t-CO2/kℓ）

電力：再エネ率 100%電力(CO2 排出係数 0.000000t-CO2/kWh)

【CO2 排出量削減効果】

製造に伴う CO2 排出量削減：合材 1t 当たり 16.0kg-CO2 削減、50.4%削減

混合物 CO2 原単位：34.58kg-CO2/t (従来 50.56kg-CO2/t)

また、当工場にはアスファルトに少量の水を添加することで通常のアスファルト混合物製造温度を最大 30℃低減できるフォームドアスファルト装置(LEAB)があり、この技術を使用することにより CO2 排出量をさらに削減可能となります。

前田道路は、舗装業界の First Mover として GHG ガス排出量削減を推進しカーボンニュートラルアスファルト混合物の製造を目標に「環境にやさしい道づくり」を実現してまいります。

<問い合わせ先>

前田道路株式会社 CSR・環境部

電話 03-5487-0032